講座番号	講座名：
D06	**仙台城下の四ツ谷用水の歴史と利活用**
	講師名：**「四ツ谷の水を街並みに！」市民の会**

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
		小3～	○	○	○

実施会場	
	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 （教室、小ホールなど） ・用水の現地など

対応人数	（講義）50人程度（活動）10人～30人
所要時間	（講義）60分程度（活動）120分程度
受講者が準備するもの	（活動）必要とされる服装や準備物

参考教科※1	小3～小6社会
参考SDGs※2	

※1 学校で利用する際に参考となる教科
※2 参考となるSDGs のゴール

講座概要	水環境の大切さ、四ツ谷用水の歴史と利活用について学ぶ
講座内容	四ツ谷用水の歴史と利活用について学びます。 （講義） ○「仙台藩発足と同時につくられ、今日の仙台市(仙台城下)の土台ともなった都市環境・生活施設、それが四ツ谷用水です。 ○この用水はどのように造られ、どのような働きをしてきたのか、その移り変わりをみていきます。 ○そして今、「杜の都」と云われるにふさわしい水緑(水土里)環境を大切にしたいとの思いから、その歴史遺産や保全のあり方を考えます （活動） ○実際に用水の流れる上流(郷六取水口～大崎八幡宮)、下流(大崎八幡宮～仙台東照宮)の区間で現地観察をしながら講義のリード部分の学習を並行させます。
講師よりコメント	四ツ谷用水を例に仙台の水文化そして環境共生(都市と自然の付き合い)を考えよう。 400年経て今も広瀬川の水が地下を流れ続けている事を個々に体感してほしい。

備考	所要時間の調整を行うことも可能です。 実施方法は、集合場所・会場、講義・行動の選択など、ニーズにあわせて対応できます。